

地域教育文化研究科の3つのポリシー

【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

地域教育文化研究科では、本研究科の教育・研究の理念に沿った教育課程を修了し、研究科が行う修士論文、あるいは特定の課題研究の審査及び試験に合格し、これによって以下のような研究能力や高度な専門知識を習得した人に学位を授与する。

1. 臨床心理学専攻

教育・福祉・医療・保健・産業等の領域において、臨床心理学など心理学の知識や諸技法を活かして心理臨床の分野で活躍する高度な専門技術を習得した人、具体的には、病院等の医療関係の臨床心理業務、中学校のスクールカウンセリング、児童相談所や児童養護施設の心理専門職、法務技官などの国家公務員専門職など、臨床心理士として社会に貢献し高度な業務を担う専門知識と技術を習得した人に学位を授与する。

2. 文化創造専攻

文化創造専攻には、音楽芸術、造形芸術、スポーツ科学の3分野を置き、それぞれの領域において、文化の活性化に寄与する高度な専門技術を習得した人に学位を授与する。具体的には以下の通りである。

①音楽芸術分野

・音楽の専門分野における深い学識と高い表現能力及び地域貢献への企画・実践能力を習得した人

②造形芸術分野

・造形芸術の各専門領域の深い学識及び高度な専門的スキルと指導力及び地域や社会の芸術文化の発展・振興に貢献できる能力を習得した人

③スポーツ科学分野

・スポーツにおける高いスキル・知識、また学校スポーツと地域スポーツにおける指導能力やコーディネート能力を習得した人

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

1. 地域教育文化研究科は、臨床心理学専攻と文化創造専攻の2専攻で構成されている。これらの専攻は、地域教育学科、文化創造学科及び生活総合学科の学部組織を基盤に、心理学、音楽芸術、造形芸術及びスポーツ文化の各領域を時代のニーズや高等教育における質の保証等の観点から、専攻や分野を部分的に連携融合する編成を行い、今日の多様な諸課題に柔軟に対応し、こころの問題をケアする人や文化的な担い手となることのできる人養成を行うことを基本としている。

2. 本研究科のカリキュラムは臨床心理学専攻では臨床心理に関する必修科目及び課題研究と選択科目で構成している。文化創造専攻では音楽芸術分野、造形芸術分野、スポーツ科学分野の3分野の共通科目、各分野の必修科目、選択科目及び総合連携科目で構成されている。

3. 2つの専攻とも専門知識や技術・技能を育成するため、実習・演習を重視した教育方法を採用している。そのために、山形県内の心理臨床関連施設、文化・スポーツ施設等との連携を強化し、実習場所の提供を受けるのみならず、連携協力施設等において学生が事業の企画・運営などの補助業務への参加を行うことによって、実践的な課題解決能力を付与するなど、教育効果をあげることを目的としている。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

<地域教育文化研究科>

■概要・特色

地域教育文化研究科は、臨床心理学専攻と文化創造専攻の2専攻から構成され、専門知識や技術・技能を育成するため、実習・演習を重視した教育方法を採用している。専攻や分野を連携融合する授業を開設し、また山形県内の心理臨床関連施設や文化・スポーツ施設等と連携して、学生が事業の企画・運営などの補助業務に参加することを通じて実践的な課題解決能力を養うことができるカリキュラムを編成している。

■理念・目標

地域教育文化研究科は、臨床心理や芸術・スポーツの各分野において、高度な専門的知識や技術・技能を養うとともに、各分野において地域社会の健全な発展向上に寄与することができる専門的職業人や指導的人材を養成する。

■求める学生像

- 臨床心理や芸術・スポーツの各分野における高度な専門的知識と技能を身につけ、実践的な能力を高めたいという意欲と能力を持つ人
- 各分野における高度な専門性を地域貢献に活かしたいという意欲と能力を持つ人

<臨床心理学専攻>

■概要・特色

臨床心理学専攻は、教育、福祉、医療、保健、司法・矯正、産業等の領域において、臨床心理学など心理学の知識や諸技法を活かしてこころのケアに貢献できる高度な専門家を養成する。具体的には、精神科病院等の臨床心理業務や中学校のスクールカウンセリング、児童養護施設における被虐待児の心理療法など、こころのケアに関する高度な業務を担うことができる専門家を養成する。

臨床心理学専攻は、（財）日本臨床心理士認定協会により、臨床心理士を養成するための第一種指定大学院に指定されている。

■求める学生像

- 様々な問題に実践的に対応できる臨床心理士となることに、強い意欲を持つ人

- 臨床心理士になるために、臨床心理学に関する専門的な知識と技術を身につけたいという意欲を持つ人
- 臨床心理士を目標とするにあたり、専門性を活かしながら社会的な役割を担うことを目指し、かつ専門性を高める努力を続ける意欲を持つ人

<文化創造専攻>

■概要・特色

文化創造専攻には、音楽芸術、造形芸術、スポーツ科学の3分野を置き、それぞれの領域において、文化の活性化に寄与することができる高度な専門的職業人を養成する。

① 音楽芸術分野

学部で修得した音楽芸術に関する基礎知識や技能等を基に、個々に応じた授業を通して、更に高度で専門的な技能や指導力の涵養を図り、専門分野で地域における指導的な役割を担う人材を育成する。また、オペラ、室内楽、オーケストラを教育の中心に据え、演奏会等の企画・運営・実践を通して音楽事業のコーディネート能力とマネジメント能力を涵養し、地域や社会の芸術文化の発展・振興に貢献できる人材を養成する。

② 造形芸術分野

学部で修得した造形芸術に関する基礎知識や技能等を基に、絵画、彫刻、工芸・デザイン、芸術学等の各専門領域において更に高度な専門的スキルと指導力を備えた人材を養成する。また、文化政策やアートマネジメントに関する実践的な能力を涵養し、公的な文化施設・団体をはじめ一般企業などの文化事業において、企画・運営・実践・指導を通して地域や社会の芸術文化の発展・新興に貢献できる人材を養成する。

③ スポーツ科学分野

各種スポーツの技術や先端理論等を修得し、競技力向上の指導者を目指す人材を養成する。スポーツ活動を企画する能力を涵養すると同時に、地域社会や行政、並びに各種スポーツ団体等と有機的に連携し協働できるスポーツ・コーディネート能力とマネジメント能力を涵養し、生涯スポーツ社会の構築を積極的に推進することのできる人材を養成する。

■求める学生像

文化創造専攻では、芸術文化・スポーツの分野で活躍できる高度な人材を養成するという目的に必要な資質を有する、次のような人を求めている。

- 大学の学部で音楽芸術・造形芸術・スポーツ科学の基礎的知識を修め、音楽芸術や造形芸術及びスポーツ科学の各分野に広い視野を持ち、高い専門的知識や技術の修得を目指す意欲と能力を持つ人